

福地ダム湖面でのペイント弾の発見について

記者発表資料

1月5日（金）11時頃、福地ダム湖面巡視中にサンヌマタ川に浮いた状態の未開封の1袋を発見しました。

陸上部で開封したところ、L=30mm、直径9mmのペイント弾を確認しました。

弾は1箱50発入りで、30箱が1袋に入っていました。

北部ダム統合管理事務所では、遺失物として警察に引渡し、ダム湖の水質調査として、

①発見箇所周辺に魚等の死骸がないか確認

②周辺の水を採取し、水質異常の確認のための水槽に混入し魚類に影響がないか調査

以上の調査を行った結果異常はみられませんでした。

念のためさらに詳細な水質調査を実施中。

また、サンヌマタ川全域を調査したところ、他に不審な物は発見されませんでした。

平成19年1月5日

内 閣 府

沖縄総合事務局

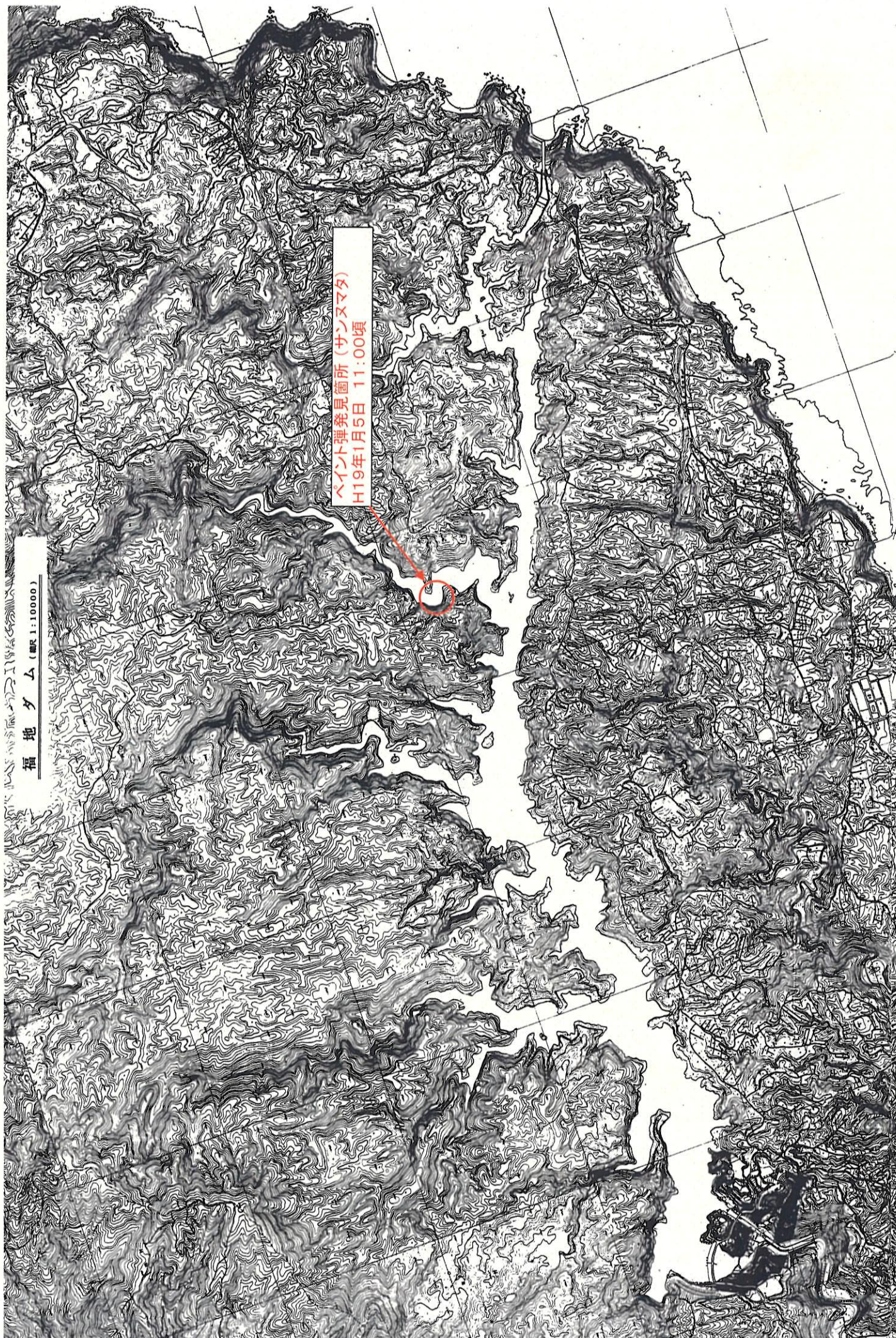
記 者 発 表

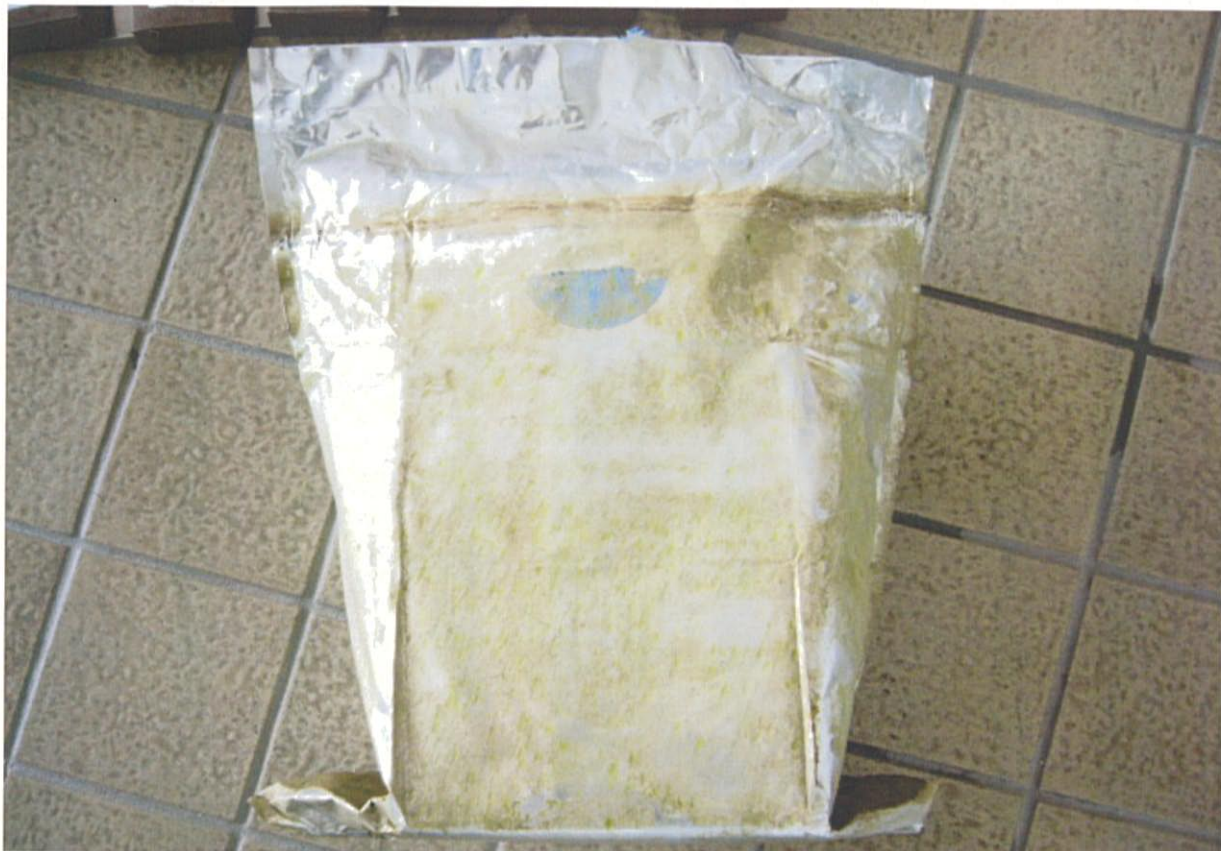
沖縄総合事務局記者クラブ

問い合わせ先

内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部	流域調整室 室 長	徳永 敏朗
	流域調整室 管理係長	町田 宗久
電話番号	098-866-0031 (代表)	内線 3811
	098-862-1457 (直通)	
〒900-8530	那覇市前島二丁目21番地7号	

ペイント弾発見箇所 (サンスマタ)
H19年1月5日 11:00頃





H19.1.5湖面巡視中、11:00頃サンヌマタにて湖面にて浮いていた。※発見時、袋未開封



中身は30箱(1箱50発入り)



5 × 10列 = 50発



L=30mm ϕ 9mm